



平成 20 年 12 月 9 日

各 位

会社名 株式会社メディックグループ  
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘  
(コード番号2369:東証マザーズ)  
問合せ先 執行役員管理本部長 門井 豊  
(Tel: 03 - 6744 - 2882)

**アレルギー患者の治療効果予測に、メディックデータ解析技術が用いられました  
～ 今後は他の研究にも広く本データ解析技術が利用可能に～**

このたび、第58回日本アレルギー学会秋季学術大会（テーマ：アレルギー疾患の予防と治療を目指して - 基礎と臨床のコラボレーション - ）のシンポジウム「アレルギー性鼻炎の病態解明と新しい治療戦略」において、当社子会社であるメディックのデータ解析技術を用いた研究成果とその有用性が紹介されましたのでお知らせいたします。

第58回日本アレルギー学会秋季学術大会（テーマ：アレルギー疾患の予防と治療を目指して - 基礎と臨床のコラボレーション - ）のシンポジウム「アレルギー性鼻炎の病態解明と新しい治療戦略」において、千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科の堀口茂俊先生により「ヒト臨床試験から得られたデータベース作成とそこから見いだされるもの」と題され発表されました研究は、平成16年より千葉大学及び独立行政法人理化学研究所との共同研究で進められており、メディックは、同研究にて得られたヒト臨床試験の各種データについて委託研究を受け、データ解析を実施してまいりました。このデータ解析により導き出された結果により、同治療の有効性が顕わになったとともに、治療前の検査結果から治療効果を予測するモデルを構築することに成功しました。

今後は、今回導き出された結果や成果をもとに、アレルギー患者への治療効果を定量的に測定するための、さらなるバイオマーカー探索が進められることが期待できるとともに、メディックとしましても、他の多くの研究に対しても当社のデータ解析技術が広く利用され、さらなる医療技術の進歩に貢献できるよう努力してまいります。

なお、今期の業績に与える影響に関しましては、現時点ではございません。

## 日本アレルギー学会

1949年に文部省科学研究(総合研究)によるアレルギー・アナフィラキシー研究班の結成に端を発し、1951年に国際アレルギー学会の誕生を契機として、アレルギーにおける基礎・臨床の総合研究を推進する目的で1952年に結成された学会です。主な学会活動は、年1回の総会と月刊の学会誌を発刊しており、アレルギーの臨床レベルのアップのための様々な支援を行ってきています。アレルギーおよび臨床免疫を共通の研究テーマとしている基礎医学者及び臨床医より構成されており、2008年11月現在の会員数は約8,500名です。

## アレルギー性鼻炎

ある特定の原因物質(花粉やハウスダストなどのアレルギー源)に対する抗体(特定のアレルギー源に反応する糖蛋白質)が体の中で合成されますが、再びその原因物質が体内にとりこまれたときに、くしゃみ、鼻みず、鼻づまりなどの症状がでることがあります。これら症状が再発する症状がアレルギー性鼻炎で、症状が1年中発生する場合(通年性)と季節によって症状の発生具合が異なる(季節性)場合があります。アレルギー性鼻炎の代表的なものに花粉症があげられますが、2001年のデータをもとにした厚生省科学研究班の発表では、もっとも患者数が多いとされるスギ花粉症の日本の全国有病率は13~16%(1,500万人~1,900万人)の間と推定されています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社メディックグループ

管理本部 IR / 広報グループ

Tel: 03-6744-2882

E-mail : [ir\\_info@medibic.com](mailto:ir_info@medibic.com)

## 株式会社メディックグループ

当社グループは、個人の体質に合わせて副作用の少なく効果の高い薬を処方できるテーラーメイド創薬の実現を目指す企業です。具体的には、医薬品開発や研究などを行う製薬企業や研究機関などに対し、個別化医療やテーラーメイド創薬を推進するサービスや製品を提供しています。

薬の効き目の個人差を示す体質は、遺伝子によって決められています。個人の遺伝子タイプが分かれば、体質に合ったより効果の高い薬を選択し処方することができます。また、投薬前に効果を確認することで、副作用も最小限に留めることができます。そのために、製薬企業では遺伝子と薬の関係を調べて医薬品開発をするようになってきています。これに必要なのが、PG×試験です。導入企業は年々増加しています。

当社グループは、PG×試験を総合的・戦略的に支援できる体制を整えています。当社グループが独自に築いた、バイオ最先端の技術・情報網、そして医療機関・製薬企業などとの幅広い人的ネットワークの活用により、PG×に対するニーズを的確に掴み、顧客の要望に適した満足度の高いサービスを提供しています。

当社グループは、P G x 試験を総合的・戦略的に支援できるユニークな存在として実績を積み重ねることにより、圧倒的に優位なビジネスポジションを築いています。

当社グループに対する詳細な情報は、<http://www.medibic.com>をご覧ください。

以 上